

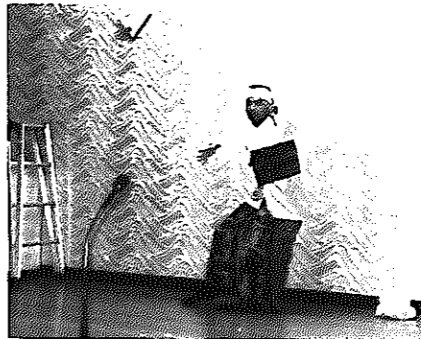
インドネシアの文化も紹介

アセアン農業研修生集合研修

県内各地で農業研修をしている五人のアセアン農業研修生が白根市に集まり、市内の家庭にホームステイしたりしながら八月二十一日から約二週間の日程で集合研修を受けました。

研修生たちは日本の優れた農業技術を学ぶため、(財)新潟県国際農業交流協会の招きで、今年四月にインドネシアから来日。県内各地の農家にホームステイしながら農業の研修をし、十一月末に帰国する予定です。

集合研修では、農業についての集中講義のほか、農業施設を見学。また、その間には、消防署や衛生センターなど市内の公共施設も見学しました。研修生たちは、見学する施設ごとに熱心にメモを取り、さまざまなか



とについて質問。消防署では、「救急車に乗るのに個人負担は要りますか？」などと尋ね、国によるシステムの違いについて、消防署の職員とお互いに質問し合う場面も見られました。

一日に行われたお別れパーティーでは、民族衣装に身を包



んだ研修生たちが、ジャワダンスやバリ島に伝わる踊りなどを披露。ホームステイを受け入れてくれた家族なども一緒に踊りながら盛り上げました。「皆さんに親切にしてください。とても楽しかった」とあいさつする研修生たち。たくさん思い出を胸に、県内各地のそれぞれのホームステイ先に戻って行きました。

身近な病気を分かりやすく講義

歯とからだの大学講座(後期)

市と日本歯科大学新潟歯学部が連携して開催する歯とからだの大学講座(後期)が、八月二十二日からスタートしました。

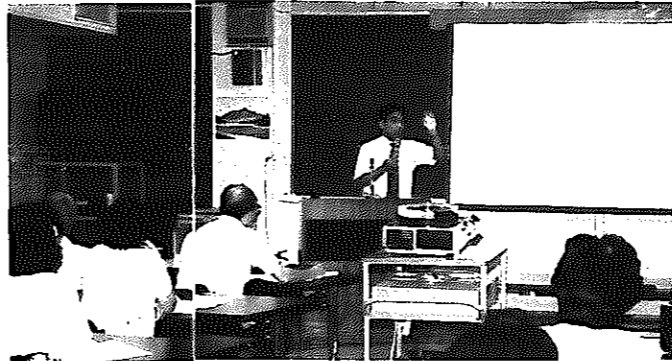
同講座は、県の「生涯大学システム事業」の一つとして行われ

ているもの。前期は「歯」についての講座が開かれました。

後期は「体」をテーマに「肝臓病と酒」、「痔」などを同大医学部病院の医師らが分かりやすく講義。身近な病気だけに参

加者の関心も高く、ほとんどの人が毎回出席しています。参加

者は口々に「勉強になりますね」と話してくれました。



カボチャの恩返し?

長沢チヨさん(西笠巻)

昔むかし西笠巻に、カボチャづくりのお婆さんがいて……。そんな昔話を思わせる話題が飛び込んできました。

西笠巻の長沢チヨさんが収穫したカボチャに家紋のような凸凹が現れ、それが長沢家の家紋に実によく似ているのです。

毎年、畑で栄養をたっぷりもらって育てられているカボチャの精一杯の恩返しでしょうか。



昔ながらの音色が聞こえて

大鷲小学校祭囃子クラブ



伝統の宮登りばやしが大鷲小の祭囃子クラブにより復活。九月三日、地元西笠巻新田と東笠巻新田の祭りで披露されました。

藍の法被が鮮やかに神社へ列を連ねます。ほら貝、笛の音色が秋の田園に漂って、地元の人々の顔にふっと笑みも。「覚えてきた技術で民謡にも挑戦したい」と指導に当たった坂井七平さん(中笠巻)は話します。



水って

気持ちいい

婦人水泳教室

「やっぱり水っていいですね。ここ何年、海にも行ってなかったから」と楽しそうに話す参加者。市が主催した婦人水泳教室は九月五日からウエイブスイミングクラブで開かれ、二十一人が練習に励みました。

初級者対象のため、まずは顔を水につけたり、足を着けたまま息継ぎをしたり。室内プールには水をかく音が心地よく響きます。「早く上手に泳げるようになりたいわね」と意欲いっぴいです。

大人も夢中、凧作り

しろね大凧と歴史の館「夏休み子供凧作り教室」



夏休み期間中、自由学習のため、凧の形や歴史について調べに来る子供たちでにぎわったしろね大凧と歴史の館。八月二十日から二十七日までの間、同館で「夏休み子供凧作り教室」が開かれました。

中には、親子で教室に参加したグループもあり、子供だけでなく、大人も凧作りに挑戦。「うまく揚がるかどうか分かりませんが、面白いですね」と大人もすっかり凧作りに夢中に。出来上がった凧は、風洞実験室で勢いよく風に乗って揚がっていました。

小さなコンサート 大きな感動

春日了と仲間たちの世界名曲コンサート

テノール歌手の春日了さんらによる「世界名曲コンサート」が、八月二十九日、石田篤さん(上塩俵)の自宅で開かれました。

春日了さんは、声楽家として音楽活動をしながら寺の住職も務め、さらにラジオやテレビなどにも出演するなど幅広く活躍中。コンサートホールなどでの

音楽活動の合間をぬって、「生の音楽をたくさんの人に近くで聴いてほしい」と、各地で小さなコンサートを開催しています。

今回のコンサートは、春日さんと石田さんが趣味の天体観測を通じての知り合いだったことから実現したものです。

コンサートでは、ルーマニア人の音楽仲間がルーマニアとロ



シアにしかないという珍しい木琴で、クラシックのメドレーを演奏しました。スプーン状のばちを素早く動かし、「トルコ行進曲」などおなじみの曲を次々と演奏する様子に聴衆はくぎづけ。また、春日さんとソプラノ歌手の残間タマラ江里子さんがシャンソン、カンツォーネなどを素晴らしい歌声で披露してくれました。後半には、木琴の演奏に併せて聴衆が歌を歌う場面も。出演者の息遣いが聞こえる小さなコンサートは、聴衆に大きな感動を与えて幕を閉じました。

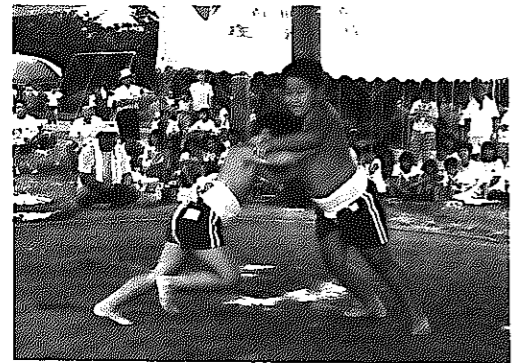
チビツ子力士、大健闘

第15回チビツ子相撲大会

八月二十七日、小林小学校土俵場で「第15回チビツ子相撲大会」が開かれました。同大会は「小学生の夏休みの良い思い出に」と毎年開かれて、いるもの。

市内小学一年生から六年生までの約二百人が参加しました。

回しを着けたチビツ子力士たちは、真剣な顔つきで土俵に。なかなか決着のつかない取り組みも多く、好勝負が続出しました。この日は夏休み最後の日曜日。会場の父母からは大きな声援が送られていました。



●身近な情報をお寄せください(企画財政課広報広聴係 ☎373-2111)